



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



4月20日分

ポール・ハリスの生誕に因んで

大森千里会員

ロータリーの創始者、ポール・ハリスは誕生日が4月19日であり、志方プログラム委員長よりポール・ハリス誕生に因んだ卓話を依頼されました。当然100年以上も前のことでもあり、当時のことを知る由もありませんので、色々の文献を読んで調べた内容で本日の話をさせていただきますが、主に神戸R.C.の会員で当地区のパスト・ガバナでもありました平島健次郎様の「ロータリーにおける歴史の重要性」の著書より引用した内容の話をさせていただきます。

ポール・ハリスについて

ハリスの出身地は米国の東北部に所在するバーモント州ウォーリングフォードである。もともと彼は1869年4月19日、ウイスコンシン州Racine（ラシン）に生まれ、3歳の年にウォーリングフォードに移った。彼の父はどちらかという世渡りは下手の部類に属し、勤勉型の人間ではなかった上に、母は名家の出ではあったが浪費癖が強く、一家は何回か四散している。ついに彼はバーモントの祖父母の許に引取られ、そこで少年期から青年期へと多感な時代をおくった。当時のニューイングランド地方に住んでいた人々は、英国から渡米した熱心な清教徒であったので彼の祖父母も例外でなく、敬虔にして質実剛健なキリスト教徒であったから、彼の人格形成の上にも多分の祖父母殊に祖母の影響を受けている。ポール・ハリスが1905年シカゴ



において3名の盟友と相計ってロータリークラブを創立し、これが親睦、相互扶助の団体から奉仕団体へと成長し、ついに国際的団体へと発展して行く上に大きな原動力となったのは、彼の清教徒的宗教感であったことは疑いの余地がない。

その上彼は、その人柄のゆえに幸運にも多くの有能な盟友の助力を得て今日の偉大なロータリーを築いて行ったのである。

学業を修めるためポール・ハリスは故郷

Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	休会	5/6 (金)
〃	移動例会	5/13 (金) ⇒ PM12:30～ 於：聖パウロ生石保育園
姫路南ロータリークラブ	休会	5/2 (月)

会長 小西文孝 幹事 都倉達殊 クラブ会報委員長 庄司 武
 例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)
 事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

ウォーリングフォードを出て、何度か大学をかわって最終的にはアイオワ州立大学を卒業したが、この期間中、弁護士事務所を実習を兼ねて勤務し大学卒業のときは弁護士試験にも合格している。しかし彼は卒業後直ちに弁護士を開業することなく約5年間世界遍歴の旅に出かけている。しかし所謂お金持の旅ではなかったため、サンフランシスコ、ロスアンゼルス、ジャクソンビル（フロリダ州）と新聞の通信員となったり、大学の講師となったり、大理石会社の外勤員となったりして生活の資と旅行の費用を稼いで、さらにケンタッキー、テネシー、ジョージアおよびヴァージニアの諸州を遍歴した。またその後は水夫となって英国にわたったが、船が間もなく米国に戻るようになったので、英国行きの資金作りのためボルティモアの缶詰工場働き再度渡英して見聞を広めた。

1893年シカゴ世界博覧会のあった年帰国してシカゴを訪問している。シカゴを訪ねた後、ポール・ハリスはニューオリンズ訪問を決意し、この間ミシシッピ河口の町でオレンジ工場の作業員として働き、再びフロリダ州のジャクソンビルに帰り、彼の良き理解者であった George Clark を訪ねて、彼の経営する大理石会社の販売員として、アメリカ南部諸州を回ってキューバやバハマ諸島まで足を延ばしている。

その後は Clark の後援によってクラーク大理石会社の代表者として、スコットランド、アイルランド、ベルギーおよびイタリアの採石場を巡歴して、この間イギリス、フランス、スイス、オーストリア、ドイツ、オランダの諸国を訪れている。このよ

うにして彼の放浪巡歴の5年はまたたく間にすぎた。この間の見聞は後年国際ロータリー会長としての彼の識見に大きなプラスとなり、ロータリー発展の上で大きな資源となった。

Clark は何とかしてポール・ハリスを自分のところに止まるよう百方薦めたが、ポールは彼の雅量と温情に感謝しつつ、彼のもとを去ってついにシカゴに出て本来の弁護士の業についていたのである。大都会のシカゴで孤独な生活をおくったポールは、1900年の夏、友人である同業の弁護士の別荘に招かれ、夕食後の散歩の道すがら、その友人が道行く町の人々と心温まる交換の場面を何度も見せつけられ、血の通った交友がシカゴのような大都会でも可能であることを体得したのである。

このことをポールは「大都会のシカゴにおいても、多くの異った職業から1名だけを選んで、政治や宗教の制約なしに、お互いに寛容の精神をもって集まる親睦があり得ないはずがないという考えが私の頭に浮んだ」と述懐している。このことがあってからポールの考えも漸く具体化されて、1905年2月23日に親しい友人である

Sylvester Shiele 石炭商

Hiram Shorey 洋服商

Gustavus Loer 鉱山技師

と共に Loer の事務所において第1回の会合を催し、この席でポールは1業1員の会員制を基本とするクラブのあり方を披露した。国際ロータリーはこの記念すべき日をロータリーの創立記念日と呼んでいる。

興味あることは、シカゴは当時独逸からの移住者が最も多く集まっている土地で

あったので、この4人のうち Sylvester Shiele および Gustavus Loer は何れも独逸人を両親に持った独逸系米国人であったことである。

2月23日第1回の例会があった後、(当時は2週間に1回の会合であった。)第3回目の例会(1905-3-21)においてクラブ名もシカゴ・ロータリークラブと正式に決定され下記初代クラブ役員が正式に就任した。

会長 Sylvester Shiele

幹事 William Jensen (不動産業)

会計 Harry Ruggles (印刷業)

このクラブ役員に2月23日(クラブ誕生日)の4名以外の人の名前が出て来るのは奇異な感じを与えるかも知れないが、2月23日から3月21日の間に Jensen, Irwin (Laundry), Ruggles (印刷業), White (オルガン製造), Newton (保険業)等が入会しているため、3月21日の会員は9名以上となっていたはずである。

このような経緯でロータリークラブとして名実共に正式に発足したのは3月21日であったので、ロータリーの創立はこの日にすべきだと論ずる人もある。

翻ってこの1905年という年は日本では明治38年、すなわち日露戦争の終末期に当り、奉天会戦、日本海海戦の勝利によって大国ロシアを破って、近代日本へまた世界の日本として頭角を現わした年に当ることは興味深い。

またこの時代は米国も興隆期にあり、シカゴも例会でなく教育・文化・経済の面に

おいて20世紀初頭の輝かしい発展時代であったが、商業道徳は消費者、被傭者および競争者のなかにあつて高い倫理性を欠いており、地域社会理念も低調で、将来のためなんらかの改善に迫られていた。

ロータリーはこのような背景の下に米国の中西部に所在する人種・政治・経済および宗教の局限のなかに出発した、とポール・ハリスも後年述懐している。しかもその後のロータリーの発展に登場するドラマティカルな登場人物はいずれも平凡であるが、善良な実業家および専門職業人であったと彼はまた付け加えている。(My Roads to Rotary の The First Rotary Club 末節)

4月15日分

献血例会

於：サンモール高砂南駐車場



献血風景



President 会長の時間

先週、献血例会に際しまして、中谷社会奉仕委員長さん始め関係者の皆さんには大変お世話になりました。

聞きますと、血が大変不足している現状のようです。この例会を見て感じます事は月並みな言葉であります。本当に良い奉仕をしているんだなあ。と毎年感じます。有難う御座いました。

Secretary 幹事報告

第34回 通算1227回

1. 先日の「献血例会」皆様にはご協力頂きまして有難うございました。姫路赤十字血液センターから報告が届いています。

- ①受付者数 142名
- ②献血者数 95名 (400mL) 82名
(200mL) 13名

2. ガバナー事務所より

- ① 第20回インターアクト地区年次大会報告書が届いています。
- ② 第8回地区囲碁大会のご案内が届いています。

日時：6月12日(日) 10:00~16:00

場所：みなとじま会館

TEL：078-302-0236

参加者：5,000円(昼食代含む)

③ 第2650地区(福井県)がロータリー創立100周年記念事業として「ロータリー情報マニュアル」を出版されました。

価格：1,500円(送料別)

宛先：〒911-0804

福井県勝山市元町1-7-26

(有)ふちがみ内

R.I.2650地区ロータリー情報マニュアル

編集委員長 舘上 勝夫

3. THE ROTARIAN 4月号とROTARY WORLD 4月号が届いています。

4. 国際交流通信No.74が届いています。

5. 「高砂ライオンズクラブ45周年誌」が届いています。

6. 県民運動の情報誌「ネットワークNo.106」が届いています。

7. 例会変更

高砂ロータリークラブ

5月6日(金)⇒休会

5月13日(金)⇒例会変更 PM12:30~

場所：聖パウロ生石保育園

姫路ロータリークラブ

5月3日(火)⇒休会

5月17日(火)⇒姫路中央ロータリークラブとの交流例会 12:30~14:00

場所：姫路商工会議所2階大ホール

姫路南ロータリークラブ

5月2日(月)⇒休会

加古川ロータリークラブ

5月3日(火)⇒休会

Donation ニコニコ報告

小西文孝

先週献血例会では大変皆様にお世話になりありがとうございました。

中谷利幸

先週の献血例会、小西会長様はじめ多数の会員の皆様お世話になりました。

誕生お祝ありがとうございました。

鹿間 虹美

久しぶりの雨の例会です。桜も散り若葉の良い時候になりました。

大森千里

本日の卓話をさせていただきます。

ポール・ハリスの誕生日に因んで何か話をしなさいとの志方プログラム委員長からの依頼です。よろしく。

又結婚記念のお祝をいただきました。

垣迫 雅一

久しぶりの例会出席です。

西野 勝・志方正昭

結婚祝、ありがとうございます。

廣瀬 明正

誕生祝有難うございます。

いよいよ還暦になりました。

先輩方よろしくご指導をお願いします。

後輩の皆さんいたわりの心をよろしく。

京谷 慎平

誕生祝ありがとうございます。

中右和宏

誕生日の祝ありがとうございます。

昨日で46才になりました。

例会記録 2005. 4. 20 (水) 通算1299回

ソング 「奉仕の理想」

本日のゲスト 高砂郵便局
郵便課長 小畑 有司 様

出席報告 4月6日 会員数 51名 欠席者 2名 出席率 96.08% <修正による>
4月20日 会員数 51名 欠席者19名 出席率 62.75%

誕生祝
中谷利幸 会員
渡辺弥生 会員
田中浩行 会員
鹿間行雄 会員
中右和宏 会員
小林久夫 会員
廣瀬明正 会員
京谷慎平 会員



結婚祝
田中浩行 会員
西野勝 会員
金谷尊式 会員
大森千里 会員
志方正昭 会員



例会記録 2005. 4. 15 (金) 通算1298回

来訪ロータリ	中根 臣 一 様 (明石西R.C.)	出雲 晶 三 様 (明石西R.C.)
アン報告	山野 松 夫 様 (姫路R.C.)	室田 隆 重 様 (姫路中央R.C.)
	安部 昌 男 様 (加古川R.C.)	中村 卓 様 (高砂R.C.)
	中野 哲 郎 様 (高砂R.C.)	砂川 次 善 様 (高砂R.C.)
	二村 宏 様 (高砂R.C.)	桂田 重 信 様 (高砂R.C.)
	名島 一 成 様 (高砂R.C.)	伊藤 俊 紀 様 (高砂R.C.)

出席報告 4月15日 会員数 51名 欠席者16名 出席率 68.63%

プログラム予定

4月20日 (水)	4月27日 (水)	5月4日 (水)	5月11日 (水)
卓話 大森千里 会員	卓話 大橋卓司 会員	休会	健康診断 ふれあいの郷 生石研修センター